

【令和6年12月19日(木)】

令和6年12月定例会 一般質問通告一覧

発言順	通 告 者	質問事項（質問要旨は別紙）	質問の相手
1	野口直次	1 令和7年度予算編成について問う	町 長
2	中原 緑	1 川根本町の観光産業について 2 川根本町学校教育について	町 長 町長・教育長
3	大竹勝子	1 防災対策について 2 マイナ保険証をめぐる問題点について	町 長 町 長
4	中澤 莊也	1 高齢者等の交通弱者対策について 2 若者の定住移住の促進について 3 高齢者等の投票機会の確保について	町 長 町 長 町 長
5	佐々木直也	1 川根本町における川根高校の在り方について 2 「こどもの権利条例」について 3 定住・移住政策としての「教育」について	町 長 町 長 町 長

※ 議員の質問の制限時間は、1回につき30分以内（質問時間のみ）とし、再質問以降は一問一答方式とする。

12月19日

発言順1番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
野口 直次	1 令和7年度予算編成について問う	(1) 現時点で、7年予算編成にあたり、予算規模の見通しと、重点目標をどの様に考えているかを伺う。 (2) 今までにないあらゆる分野での、物価高、資材・人材費の高騰等によって困難な予算編成と予想されるなか、町民サービス等を含めどの様な影響又、懸念材料があるのかを伺う。 (3) 事業費増加による補正予算を少しでも減らす対策を、当初予算編成時から内容を精査検討されるのか、伺う。 (4) 国・県の予算措置もあると思われるが、駆け込み型の大型補正予算が12月定例会で見られたが、来年度も年度中に見込まれる可能性の事業等はあるのか、伺う。 (5) 6年度は災害復旧工事もあったが、多かった繰越明許を減らす新たな改善対策を、検討されるのか伺う。 (6) 高度情報基盤整備の更新時期を迎え、何らかの形で予算計上は検討されるのか伺う。 (7) 今後の在り方検討会を踏まえ、大鐵全線復旧・復興に関する事業等の予算計上の見込みを伺う。 (8) 一方で今後含め来年度、行政改革を進めていくことは可能か、出来るのか、伺う。	町 長

12月19日

発言順2番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中原 緑	1 川根本町の観光産業について	(1) 町の主要産業の一つは、観光であります。南アルプスの山々を背に大井川が町の中央を流れ、豊富な温泉と四季折々の自然の豊かさ、そして創立100年を迎える大井川鉄道。観光資源がこんなに揃った川根本町は、静岡県観光を牽引できる要素、宝が十分にあります。 町は静岡県中部、大井川流域の中心に位置する川根本町の観光を、地域産業の柱としてどう育てるのか、またそのために何が必要なのか伺う。 (2) 「大井川鉄道全線復旧・復興を求める意見交換会」で出た意見は何で、それについてどう対応していくのか伺う。 (3) 寸又峡温泉、夢のつり橋の有料化と、待ち時間解消対策について伺う。	町 長
	2 川根本町学校教育について	(1) 本年4月2つの義務教育学校がスタートした。児童・生徒、教職員における新たな学校教育環境の変化による影響について伺う。 (2) 2024 川根本町教育ビジョンの特色について伺う。 (3) 川根高校との連携・交流について伺う (4) 川根本町クラブ活動移行計画について伺う。	町 長 教育長

12月19日

発言順3番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
大竹 勝子	1 防災対策について	(1) 大規模災害などの際、孤立する恐れが強いと考えられる地区における災害時の備えはどのようなになっているか (2) 各地区の集会所や、廃校となった箇所を含む学校の体育館などで冷暖房と洋式トイレが整備されているところはどの程度あるのか (3) 災害時要援護者に係る個別支援計画はどの程度策定されているか。また、役場内でこの計画策定の徹底に最終的に責任を負うのはどの部署か。合わせてすべての要援護者について計画策定をいつまでに終わるつもりか (4) 災害時避難所となることが想定される施設に接続する上水道の耐震化はどの程度進んでいるのか。耐震化が完了するまでの間、どのように飲料水や生活用水などの確保を図るつもりか (5) 南海トラフ巨大地震のような大規模かつ広域的な災害においては、町内外を結ぶ幹線道路が寸断される恐れが強いと考えられ、食料の確保が極めて緊要な課題となる可能性がある。こうした可能性に対してどう備えるつもりか	町 長
	2 マイナ保険証をめぐる問題点について	(1) 考えられる様々なトラブルにどう対応するのか。資格確認書は全員に発行するべきではないか。	町 長

9月26日

発言順4番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中澤 莊也	1 高齢者等の交通弱者対策について	(1) デマンドタクシーの運行区域を町外まで広げる考えはないか。 (2) 受託業者の大鉄アドバンスと協議し、デマンドタクシーの利用・運行状況がスマホやパソコンで簡単に確認できるようなシステムの開発を行う考えはないか。 (3) デマンドタクシーの予約を従来の電話予約に加え、オンラインでも予約可能とするような取組をする考えはないか。 (4) 住民から自家用有償旅客運送の申し出があった場合、町はどのような対応をし、どのような支援をして行く考えであるか。	町 長
	2 若者の定住移住の促進について	(1) 若者定住促進住宅退居者の半数以上が町外に転出してしまっているが、このような状況、原因を町はどのように捉え、今後この状況をどのようにして改善し、若者の定住を促進するためにどのような方策を講じようとしているのか。 (2) 空き家の有効活用を図り、若者の定住移住を促進するため、町で空き家を買上げ、修理改修し、定住移住を希望する若者に安価で貸し出し、何年か経過後にその家は無償で譲り渡す仕組みを構築する考えはないか。	町 長
	3 高齢者等の投票機会の確保について	(1) 高齢者や障害を持たれている方等が気軽に投票できる仕組みとして、期日前投票において、移動投票所の開設やオンライン投票の仕組みを採用する考えはないか。	町 長

12月19日

発言順5番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
佐々木直也	1 川根本町における川根高校の在り方について	(1) 川根本町として、川根高校に期待することはどのようなことか。 (2) (1)の達成のために、町としてどのような働きかけをしているか。 (3) 川根本町のビジョンにおいての川根高校の役割をより明確にし、その達成のために、県、町、高校、地域住民、有識者等のメンバー構成で「協議会」を立ち上げるのはいかがか。	町長
	2 「こどもの権利条例」について	(1) 令和5年12月議会の一般質問で「こどもの権利条例」の制定の前向きな検討を提案した。その際の答弁で、「令和6年度の一年の間に協議する」とあったが、進捗を伺う。	町長
	3 定住・移住政策としての「教育」について	(1) 川根本町が「0歳から18歳までのシームレスな子育て・教育」の体制を整えば、全国に誇る魅力的な子育て環境になり得る。 ① 子育て世代への移住喚起策として、川根本町の教育環境にスポットをあてたプロモーション動画を作成するのはいかがか。 ② 未就学児の「留学」の受け入れ態勢の充実をはかっていただきたい。考えを伺う。	町長